

第39回 糖尿病

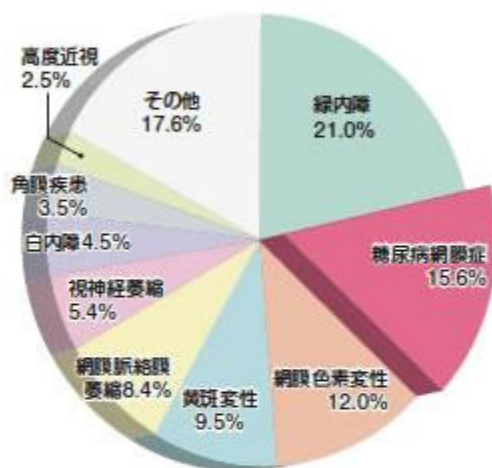
(1) 増え続ける糖尿病

糖尿病の患者数は最近増加傾向にあり、国内で約950万人、予備軍を含めると、約2,050万人い
ると言われています。

糖尿病は合併症と呼ばれる、いわゆる余病に注意が必要な疾患で、合併症はとくに腎臓や神
経、そして眼に現れることが多く、これらを三大合併症と言います。

眼の合併症は、糖尿病網膜症と呼ばれ、内科で糖尿病と診断されたときから定期的な眼科の
検査を受けることが奨められています。

糖尿病網膜症は成人の失明原因として非常に大きな比率を占めています。



視覚障害の原因疾患

平成24年度の調査集計より抜粋

(2) 糖尿病網膜症

眼の奥の方には網膜という組織があり、瞳から入った光の明暗や色を感知する役割をもって
いて、ものを見るために大変重要なところです。

糖尿病の進行によって、この網膜が傷つけられ、カメラでいうと、フィルムの感度が低くなったり、
フィルム自体が破損してしまった状態になることを糖尿病網膜症と言います。

(3) 当院の取り組み

当院(に限らず)では、眼底精密検査を随時行っております。

糖尿病と診断された方は、主治医のドクターとご相談のうえ、お近くの眼科にて精密眼底検査を
受診なさるよう、お奨め致します。

(2016.09.29)